

放送大学（千葉市）は2026年4月入学から、海外在住の学生の受け入れを開始する。企業が社員に新しいスキルを身につけさせる「リスキリング」や、大人になって学び直す「リカレント」などを後押ししたい考えだ。4月入学の出願締め切りは2月3日午後5時（日本時間）。

同大は通信制大学として1983年に開学し、国内に住む社会人や主婦、退職者らを対象にオンラインで授業を行っている。現在の在學生は約8万5000人。一方、近年はリスキリングやリカレントが注目されていることから、企業の駐在員や家族などの海外在住者にも学習機会を提供

## 放送大学 世界中に門戸

するための環境を整えた。

募集するのは、学部レベルの「科目履修生」と、大学院レベルの「修士科目生」。全ての国・地域に在住する人が対象で、国籍に関係なく応募できる。入学試験はない。

「科目履修生」向けには一般教養から専門科目まで約300科目を、「修士科目生」向けには約100科目を開講し、希望する1科目から履修できる。

担当者は「世界中どこでも、日本語で質の高い教育を受けられる機会を提供したい。幅広い層の学び直しやキャリアアップにつながれば」と話している。